

令和８年度 第２回 横浜市旭区老人福祉センター福寿荘指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和８年８月５日（水） 15時00分～17時00分
開催場所	旭区役所 地下１階３号会議室
出席者	康委員長、葛西委員、勝呂委員、山下委員、渡邊委員 （計５名）
欠席者	なし
開催形態	公開（一部非公開） 傍聴者０人
議 題	－開会－ １ 本日のタイムスケジュール等について ２ 応募者の資格審査・財務状況等について ３ 公開ヒアリング ４ 本審査 －閉会－
会議内容	－開会－ 「横浜市旭区老人福祉センター福寿荘指定管理者選定委員会運営要綱」第７条第３項に基づき、本委員会が成立していることを確認。委員長による開会宣言。 １ 本日のタイムスケジュール等について 事務局から公開ヒアリングのタイムスケジュールについて説明。 ２ 応募者の審査資格・財務状況等について【非公開】 （１）応募者の資格審査 事務局から ア 公募要項に規定する応募者の資格要件を満たしていること イ 公募要項に規定する欠格事項については、本市入札資格の制限がない旨、労働保険料及び法人税・消費税等の滞納がない旨について確認したことを報告。 ただし、暴力団などの統制下でないこと及び法人市民税等の市税の滞納状況については、所管局に照会中のため、応募者から提出された「欠格事項に該当しない宣誓書」を基に、応募資格があることを前提に審査していただく旨を事務局から報告。 （２）応募者の財務状況 応募者の財務状況について、財務の専門家の委員から報告。 ３ 公開ヒアリング 応募者による提案内容の説明（20分以内）及び提案内容について委員からの質疑（20分程度）を実施。 ４ 本審査【非公開】 応募書類及びヒアリングに基づき審査を行った。 委員長による閉会宣言。 －閉会－
審査内容	応募書類及び面接審査（応募団体プレゼンテーション・質疑応答） （公開、ただし応募者の関係者は除く） 応募団体は１団体で、プレゼンテーション及び質疑応答による審査を実施。団体ごとに評点表を記載し、最後に現指定管理者の評価を行った。

	【主な質疑内容】 (委 員) 地域に溶け込んだ施設となっているが、近隣である白根地区との関係性や地域の評価はどのように捉えているか。 (団 体) 地域のつながりが非常に強いと感じている。高齢者が多い地域ではあるが、若い世代同士のつながりや交流もある。地域住民の方は気さくなかたが多く、施設が地域に溶け込みやすい環境が形成されていると認識している。 (委 員) 提案書に記載のある ISO 認証資格とはどのようなものか。 (団 体) 組織における管理上の認証資格を取得している。 (委 員) 点検計画やチェックする仕組みはどのようなになっているか。点検表などによる管理は行っているか。 (団 体) 点検項目を含む日報を作成し、常駐する業務員が記録している。 (委 員) 不動丸小の地域防災拠点と福寿荘との位置づけ・関係性はどのようなものか。 (団 体) 各地域防災拠点での避難生活が難しいと判断された方を受け入れるための二次的な避難所である「福祉避難所」として、福寿荘は位置づけられている。 (委 員) 地震など緊急時の対応はどのように準備・対応しているか。 (団 体) マニュアルを作成し、訓練等を行っている (委 員) 施設の立地として利便性が悪い。利用者傾向はどのようなのか。 (団 体) 旭区全般から来ている。隣の保土ケ谷区からも来ている。お風呂や講座目当てで来る人がいる。 (委 員) 利用促進策はどのようなものか。福寿荘通信の配布先はどこか。 (団 体) 利用者への声かけ・口コミによって対応している。初めて来た方に親切・丁寧な案内・声かけを行うことで、事業をアピールして、リピートにつなげている。福寿荘通信は主に、区役所、みなくる、ケアプラザなどで配布している。関係機関との連携体制を構築し、利用者が安心して相談できる環境を整備している。
審査結果	1 指定候補者について よこはま健康福祉サポーターズ（構成団体名：株式会社ウエルネスサポート、株式会社協栄） 【合計点：427点】 2 選定結果報告書等について 事務局で（案）を作成し、委員長による確認のうえ確定とする。
資 料	1 資料 (1) 選定委員会委員名簿 (2) 座席表 (3) タイムスケジュール (4) 公開ヒアリング留意事項 (5) 公募要項 (6) 横浜市旭区老人福祉センター福寿荘の指定管理者の候補者の選定等に関する要綱、 横浜市旭区老人福祉センター福寿荘指定管理者選定委員会運営要綱 (7) 令和6年度実施第三者評価シート (8) 審査報告書（案） (9) 評点表